

募集のご案内

募集期間 令和7年7月28日(月)～令和7年10月9日(木)

*受付期限は、公共職業安定所窓口への提出・受理の日とします

● 応募資格

食 品 加 工 科	
一般企業への就労を希望する方で、次の要件のすべてを満たす者	
(ア)	中学校、特別支援学校(養護学校等)を卒業している者(令和8年3月卒業見込みの者を含む)
(イ)	自己の身辺処理が可能で、集団生活になじめる者
(ウ)	愛護手帳・療育手帳を所持している者(申請中を含む)又は障害者職業センター等で知的障害者の判定を受けた者

● 応募手続き

① **「募集説明会」** *入校を希望される方は必ず参加してください。(応募に必要な書類(願書等)も会場でお渡します。)

○ 実施日時: 【1】 7月30日(水) 【2】 8月6日(水) 【3】 8月28日(木) 【4】 9月5日(金)
【5】 9月17日(水) 【6】 9月24日(水) 【7】 9月30日(火) 【8】 10月6日(月)

※各回とも AM10:00～AM11:00 (事前予約をお願いします 1日7組まで)

- ・ 会場: なごや職業開拓校
- ・ 内容: 施設概要、訓練内容、応募手続き、選考方法等の説明
- ・ 保護者同伴での参加をお願いいたします。

② 応 募

居住地を管轄する公共職業安定所に以下の書類をご提出ください。

*「入校願書」、「愛護(療育)手帳の写し」、「面接用アンケート」、「利用施設・機関アンケート」

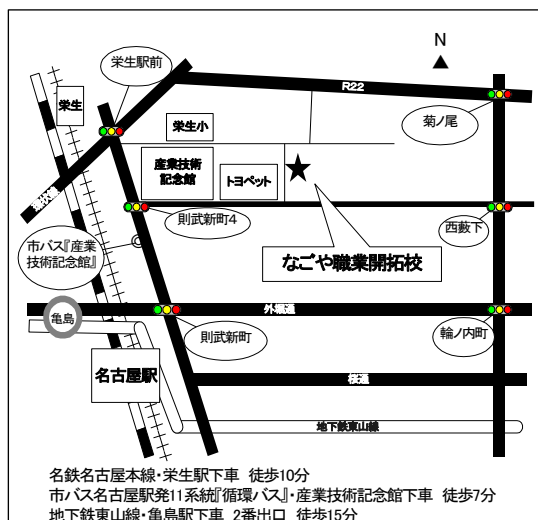
③ 選考試験

- ・ 選考日 令和7年10月23日(木)・10月24日(金)のいずれか
- ・ 実施場所 なごや職業開拓校
- ・ 選考方法 ① 適性検査 ② 面接
- ・ 応募締切り後、受験票とともに詳しいご案内(選考日・時間等)を、応募者の方へ郵送します。

④ **選考結果** 令和7年11月5日(水)に郵送で本人宛に合否結果を発送します。

⑤ **入校日(予定)** 令和8年4月2日(木)

■ 交通アクセス



■ お問い合わせ先

〒451-0051

名古屋市西区則武新町二丁目24番14号

社会福祉法人 共生福祉会

なごや職業開拓校(能力開発訓練施設)

TEL: 052-582-6006 FAX: 052-582-6022

★ 「則武家うどん」の看板が目印です ★

■ 委託元

愛知県立名古屋高等技術専門校

〒462-0023 名古屋市北区安井二丁目4番48号

TEL: 052-917-6711 FAX: 052-917-6331

令和8年度 募集案内

障害者特別委託訓練実施施設

なごや職業開拓校 食品加工科(知的障害2年コース)



なごや職業開拓校とは？

愛知労働局の助成を受け、障害のある方々の職業訓練を行う能力開発訓練施設です。職業適応訓練・職業実習訓練等を実施し、民間企業の協力を得ながら必要な職業指導を行います。障害のある方々の職業に必要な能力を開発・向上させるとともに、公共職業安定所との連携により、事業所に対して障害者の職業にかかる啓発活動を行い、新たな職業の開拓を目的としています。

平成13年度から、愛知県立名古屋高等技術専門校から委託を受けて、食品加工科及び生産実務科の訓練を行っています。

訓練科 ＊ 食品加工科

- 募集定員 ＊ 10 名
訓練期間 ＊ 令和 8 年 4 月～令和 10 年 3 月
訓練時間 ＊ 2800 時間
受講料等 ＊ 受講料は無料
＊ 作業服代(入校時に購入)、昼食代は本人負担
＊ 教材費等として 7,000 円/月を徴収
援護措置 ＊ 公共職業安定所から受講指示された訓練生は「訓練手当」が支給される場合があります。

1年次は、食品製造に関する技能や安全衛生の知識習得、製品の品質管理・納期等の意識を養うことなどを通じ、基礎的な職業習慣を身につけます。

2年次は、企業等と連携して、より実践的な社会適応技能の習得や「ひとりひとりが納得のいく進路」の実現をめざします。

また、卒業後は安定的に就労を継続できるよう、職場定着支援を実施します。長い職業生活の中で起こる様々な困りごとには、法人内の「障害者就業・生活支援センター(2 か所)」や他の支援機関と連携した支援を行っています。

こんな方にお勧めです!!

- じっくり時間をかけて力や自信をつけたい！
- 自分に合う仕事を考えたり、見つけるための支援が欲しい！

開拓校の一日（例）

8：45	朝礼・ラジオ体操
9：00	作業訓練
11：45	昼休憩
12：30	作業訓練
14：00	利用者ミーティング
15：00	館内清掃
15：30	着替え・日誌記入
16：00	終礼

ポイント1:技能訓練 生きた訓練



施設内の製麺工場・うどん店で実践的な作業体験を行っています。実際の職場に近い環境で基本的な技能や労働習慣を習得します。

訓練を通じて自分の強み・適性を知り必要な支援や就職の方向性を探ります。

また、一般企業での清掃業務で使用する器具を使い、道具の使い方や清掃技術を習得します。

当法人の母体「わっぱの会」が、「どんな人も共にはたらき、共にくらす社会」をめざす活動を始めて 50 年以上が経ちます。障害のある人が地域で共に生きていくうえで、働くことはその要（かなめ）となります。そのため障害のある人・ない人が共に働く事業所づくりと共に、1990 年代より一般企業などへの就労を応援する活動を進めてきました。今や法人全体で年間 100 件以上の一般就労を実現していますが、働きたいというニーズは増えるばかりです。

本校では、「就労移行支援事業所」等の一般就労に向けた福祉サービスがない時代から、「実践的な働くための準備」に焦点をあてた実践を行ってきました。その甲斐あって、卒業生の職場定着率（就職後 1 年経過時点での在職率）は 9 割を誇ります。開校以来 20 年以上にわたるノウハウを生かし、卒業後の「安定した就労生活」を実現するためのカリキュラムをご提供しております。

ポイント2:職業生活支援 働き続ける力を育む

グループでの講義やミーティングを通じて、「就労意欲の向上」や「基本的な労働習慣の確立」をめざします。

また、具体的な就職活動に向けた準備（履歴書の書き方、就職活動時の身だしなみ、面接の受け方等）を行います。

プログラム一例

- 安全・衛生講習
- サービス業の基本（接客のマナー）
- ストレスコントロール
- 金銭管理
- 就活ミーティング
（応募書類の書き方、身だしなみ、面接練習等）
- ビジスマナー
（出退勤、休憩時間の過ごし方、報告の仕方等）



ポイント3:体験実習 多様な経験



本校では経験できない職種を、企業の協力のもと利用者の希望に沿って職場体験をします。

職場体験を通じて、就職のイメージや具体的な職種に対するイメージを持てるようにし、そこでの気づき（強み・適性・課題等）を就職活動に生かしていきます。